

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	03204
----------	-------

1. 開設大学	近畿大学工学部	開催方法 (キャンパス・施設)	□ 対面 ( ) ■ オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	環境に優しい化学：グリーンケミストリー (本当は怖いプラスチック?! マイクロ・ナノプラスチックの脅威)					
	学問分野	番号	43	名称	複合系 (環境, その他)	
3. 担当教員	白石浩平 工学部 化学生命工学科					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和4年5月6日 (金)、12日・19日・26日 (木) ※5/6 初回のみ金曜 17時00分 ~ 17時50分 (50分×4回) ※5月14日・5月28日 (土) 10:00~11:50 (録画配信・講師オンライン対面)					
個別開講日	1回目 5/6(金)	2回目 5/12	3回目 5/19	4回目 5/26	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>プラスチックは豊かな生活を支え、衣 (医)・食・住さらにはコロナ禍では、ワクチン注射器、マスク等、健康維持等にも欠くことのできない材料の中心です。 しかし、ゴミとなりマイクロ及びナノ化によって、土壌・海洋で、生態系を乱し、生体へ及び寄る脅威ともいわれています。 講師の専門分野 (生体材料学, 機能性高分子, バイオ機能システム) から、プラスチックの課題のみならず必要不可欠なプラスチック問題の解決 (生分解性素材の利用, バイオ燃料との混和によるエネルギー回収, バイオ分解の探査等) を一つのゴールに、プラスチックの基礎・応用さらにはゴミ発生源に及んでの情報提供等に及び、講師の研究も含めて総合的な解説します。 【講義内容】 (下記の内容を4回で講義します)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>プラスチックの利用</li> <li>プラスチックとは?</li> <li>プラスチックの成形法</li> <li>廃プラスチックとどうなるか?</li> <li>マイクロプラスチックとは?</li> <li>マイクロプラスチックの海洋分布</li> <li>プラスチックの生産と再利用</li> <li>プラスチックの生態・ヒトへの影響</li> <li>プラスチック添加物 (環境ホルモン)</li> <li>プラスチックは何故分解しないのか?</li> <li>生分解性プラスチックの利用とプラスチック分解菌の探査</li> <li>近畿大学工学部のプラスチック問題への挑戦</li> <li>プラスチック問題解決のために</li> <li>おわりに</li> </ol>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 ( 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 (7月8日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月9日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	<p>受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など [1]5/14 (土), [2]5/28 (土) 10:00~11:50, 録画授業を講師がオンライン対面 (終了後、質問等を受付ます) します。 [1]5/6, 5/12 (2回分同時), [2]5/19, 5/26 (2回分同時) ※通常日程・録画日程の、どの回からでも出席を受け付けます。希望を備考欄に記入してください。 ※授業終了後に、講師の共同研究先との講習交流会等を7月に計画します。</p>					
11. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。